

令和元年度決算にかかる
外部評価結果報告書

亀山市行政評価外部評価委員会

(目次)

令和元年度執行の事務事業に関する外部評価結果	1
【亀山市の行政評価システムについて】	1
【総括評価】	1
【個別事業評価】	2
【決算概要】	2
個別事業評価(前期基本計画の施策の体系順)	4
1. 快適さを支える生活基盤の向上	
(4)道路の保全・整備	4
(6)安全・安心なまちづくりの推進	5
2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実	
(1)地域福祉力の向上	6
3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上	
(3)地域に根ざした商工業の活性化	7
4. 子育てと子どもの成長を支える環境の充実	
(2)安心して産み育てられる環境づくりの推進	8
5. 市民力・地域力の活性化	
(2)市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進	9
(3)共生社会の推進	10
6. 行政経営	
(2)財産・情報の適正な管理・活用	11

令和元年度執行の事務事業に関する外部評価結果

【亀山市の行政評価システムについて】

亀山市では、平成19年度に始まった第1次総合計画の策定を契機に行政評価システムを導入し、第1次総合計画後期基本計画や第2次総合計画前期基本計画の策定時において、総合計画の効率的かつ効果的な推進を図るため、それまでの取組成果や課題等を検証され、評価システムの見直しが行われています。

外部評価については、評価内容の客観性や妥当性の向上を図るため、これまで継続して実施しており、市において、行政評価の制度定着が図られる中で、今回も前期基本計画の施策推進に向けた意識を強めるため、同一の基本施策に位置付けられた事業を事業群として捉え、21の事業を8つの事業群に分類し、評価内容の具体性等の視点も含め、評価を行いました。

【総括評価】

今回の外部評価は、第2次総合計画前期基本計画第2次実施計画の1年目である令和元年度の主要事業を対象に、事業群として一体的に評価を行うとともに、事業の成果や今後の対応方針に関する評価と併せて、その目的や手法の適切性まで確認することで、事業の上位施策への寄与度や目的に対する成果などを、効果的に評価できたものと考えられます。

個々の事業評価については、これまでの行政評価で培われてきた成果もあり、概ね適切に評価されており、かつ、事業の成果についても確認することができましたが、一部の事業においては、個別事業の活動結果をそのまま成果としていたり、対象全体がどれだけあってそのうちどれだけ進捗したのかが明示されていないなど、市民にとってどのような成果を達成したのかが読み取りにくいものが見受けられました。

そのため、いくつかの事業については評価の見直し意見を出しましたが、それ以外の事業においても、今後の評価にあたっては、事業の上位施策に対する意識を強め、事業の活動成果や対応方針について、より分かりやすく具体的に記載を行い、効果的に今後の事業展開に役立てられるよう努めてください。

【個別事業評価】

今回、対象となった事業群に対する総括意見及び個別事業評価結果については、対象事業群別シートのとおりです。

【決算概要】

令和元年度一般会計決算については、第2次総合計画前期基本計画の3年目の年として、新たに策定した第2次実施計画の推進を図るとともに、行財政改革による財政健全性の確保に努められ、一方で消費税率の引き上げなどの国の制度改正にも適切に対応されたところであります。

そのような状況において、経常経費の削減に取り組むとともに、借り入れの抑制により市債残高は11年連続で減少し、公債費負担比率は前年度に比べ好転するなど、将来の財政負担の軽減が図られています。しかしながら、市税収入においては、前年度比約5億6千万円の減収となったことから経常収支比率が前年度に比べ後退し、財政調整基金の取り崩しによる財源補てんの結果、基金残高は減少しています。

一方、長期的な視点で試算を行った「長期財政見通し」では、歳出において投資的経費や扶助費の増加、歳入において市税、普通交付税の減収が見込まれるとともに、加えて新型コロナウイルス感染症の影響による税収減や歳出増も危惧されることから、一層慎重な行財政運営に取り組む必要があります。

また、今後予定される新庁舎整備やリニア中央新幹線誘致に備えたまちづく

りなど、多額の投資に耐えられるような財政的な底力を確保する必要もあるところではあります。

これらのことから、第2次総合計画の事業推進においては、引き続き財源の確保と実施可能な事業進捗を図るとともに、行政評価システムの適切な運用と効果的・効率的な行財政運営に努めていただきたい。

以上、当委員会として、評価結果をまとめましたが、これらを第2次総合計画の推進に活かし、より一層市民の期待に応えられる行財政運営に努められるよう要望します。

令和2年8月3日

亀山市長 櫻井 義之 様

亀山市行政評価外部評価委員会

委員長 村林 守

■施策の体系

基本施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上
基本施策	04:道路の保全・整備

■対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17016:都市計画道路整備事業(野村布気線)	土木課 施設整備G
2	17017:狭隘道路後退用地整備事業	用地管理課 管理G
3	17018:橋梁長寿命化修繕事業	土木課 施設保全G
4	17019:舗装老朽化対策事業	土木課 施設保全G

■外部評価委員会評価

(総括意見)

都市インフラである道路・橋梁の整備については、市民生活を支える重要な事業のため、適切かつ柔軟に進めてほしい。

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的手法	活動成果	対応方針
1	適切な評価と認められる。 ・今後、道路整備の効果について把握に努め、市民に周知されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	(対応方針) 後退用地寄附者の費用負担軽減について検討されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	(活動成果) 点検・修繕が必要な橋梁数を把握した上で、進捗度を記載するなど、具体的な成果の内容を記載されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
4	適切な評価と認められる。 ・国からの交付金は年々減少傾向にあるので、今後も財源確保に努められたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■施策の体系

基本施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上
基本施策	06:安全・安心なまちづくりの推進

■対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17023:地震対策・木造住宅補強事業	都市整備課 住まい推進G
2	17024:橋梁耐震化補強事業	土木課 施設整備G
3	17025:出屋排水路整備事業	産業振興課 農業G
4	17026:長妻池耐震整備事業	産業振興課 農業G
5	19005:ブロック塀等撤去支援事業	都市整備課 住まい推進G

■外部評価委員会評価

(総括意見)

地震等の自然災害から市民を守る重要な事業であるため、必要な改善を図りながら、今後もしっかりと取り組んでほしい。

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的手法	活動成果	対応方針
1	(活動成果) 未耐震の木造住宅数を記載するなど、全体像が見えるよう評価されたい。 (対応方針) さらに事業進捗を図るため、耐震化に係る費用負担の軽減について検討されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	(活動成果) 活動評価については、計画通り進めているのでAでよい。成果の評価については、事業の優先度、進捗度などが分かるよう記載されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	適切な評価と認められる。 ・一部工事が翌年度へ繰越しとなったものの、所期の効果が出ていると認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
4	適切な評価と認められる。 ・一部工事が翌年度へ繰越しとなったものの、本体工事は完了しており、所期の効果が出ていると認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
5	(対応方針) 自治会・地域まちづくり協議会と連携し、撤去が必要なブロック塀を把握するなどして、取組を進められたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■施策の体系

基本施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実
基本施策	01:地域福祉力の向上

■対象事業

No.	事業名	所管部署
1	18001:地域福祉力強化推進事業	地域福祉課 福祉総務G
2	17040:生活困窮者自立支援事業(自立相談支援事業等)	地域福祉課 福祉総務G

■外部評価委員会評価

(総括意見)

市民を支える重要な事業であることから、今後もしっかり取り組んでほしい。

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的手法	活動成果	対応方針
1	適切な評価と認められる。 ・地域による違いもあり、CSWの力だけでの事業進捗は難しいので、市として、地域まちづくり協議会との関係づくり等に取り組まれない。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	適切な評価と認められる。 ・努力が着実に成果として表れているが、今後も需要が多いと見込まれるので、人員配置も含め検討されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■施策の体系

基本施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上
基本施策	02:地域に根ざした商工業の活性化

■対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17062:創業等支援事業	産業振興課 商工業・地域交通G

■外部評価委員会評価

(総括意見)

商工業の活性化を図るため、今後も、より効果的に取り組まれない。

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的 手法	活動 成果	対応 方針
1	適切な評価と認められる。 ・事業の成果は認められるので、今後も、空き店舗の活用も含めて、創業者を支える取組を進められたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■施策の体系

基本施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実
基本施策	02:安心して産み育てられる環境づくりの推進

■対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17083:福祉医療費助成事業(子ども)	市民課 医療年金G
2	17085:不妊・不育症治療費助成事業	長寿健康課 健康づくりG
3	17086:かめやまげんきっこ育成事業	子ども未来課 子育てサポートG
4	18003:子育て世代包括支援事業	長寿健康課 健康づくりG

■外部評価委員会評価

(総括意見)

亀山市の誇りとなる事業であるので、安心して産み育てられる環境づくりに向けて、総合的に事業を進められたい。

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的手法	活動成果	対応方針
1	適切な評価と認められる。 ・福祉医療費助成制度の全体的な見直しが検討されているが、他市の例に倣うだけでなく、亀山市らしさが残るように検討されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	適切な評価と認められる。 ・必要な事業であるので、適切に継続されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	適切な評価と認められる。 ・有益な事業であることから、引き続き努力されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
4	適切な評価と認められる。 ・支援が必要な家庭に、よりきめ細やかな対応を行うため、マンパワーを確保し、拡充されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■施策の体系

基本施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化
基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進

■対象事業

No.	事業名	所管部署
1	18004:市制施行15周年記念事業	政策課 広報秘書G

■外部評価委員会評価

(総括意見)

過去の努力が現在のまちを形作っているように、亀山市づくりは長いスパンで進むものであることから、今後、20周年、30周年と、亀山市の発展に繋がりたい。
--

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的 手法	活動 成果	対応 方針
1	適切な評価と認められる。 ・15周年を記念して作成した市勢要覧、特集動画等を活用し、市への誇りや愛着のさらなる醸成に繋がりたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 見直し

■施策の体系

基本施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化
基本施策	03:共生社会の推進

■対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17101:ワーク・ライフ・バランス推進事業	文化スポーツ課 文化共生G

■外部評価委員会評価

(総括意見)

ワーク・ライフ・バランスは、課題としても担当部署が多岐にわたるので、市として整理し、総括する部署を明確にする必要がある。
--

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的 手法	活動 成果	対応 方針
1	適切な評価と認められる。 ・ワーク・ライフ・バランスは様々な分野に関係する課題であり、男女共同参画を扱う立場からの取組としては理解できる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 見直し

■施策の体系

基本施策の大綱	06:行政経営
基本施策	02:財産・情報の適正な管理・活用

■対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17102:行政情報システム事業(住民情報系)	総務課 情報統計G
2	17103:行政情報システム事業(内部情報系)	総務課 情報統計G
3	19014:証明書等コンビニ交付事業	市民課 戸籍住民G

■外部評価委員会評価

(総括意見)

<p>行政は情報システムに大きく依存するようになっているので、安定した運用に努められたい。</p>

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的手法	活動成果	対応方針
1	適切な評価と認められる。 ・システム障害が発生した際にも適切に対応された。今後も安定して運用できるよう努められたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	適切な評価と認められる。 ・行政事務を効率的に進められるよう、今後も安定して運用できるよう努められたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	適切な評価と認められる。 ・市民にもっと活用してもらえよう、マイナンバーカードの普及と併せ、PRに努められたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し